



神戸大学は、令和2年4月に、革新的な価値創造人材を育成するために 全学横断組織として「神戸大学V.スクール」を設置予定です

※正式名称は、神戸大学バリュースクール(通称、V.スクールもしくはV.School)です

V.スクールが目指すもの

失われた20年が30年に伸びようとしている日本の閉塞感。その大きな原因が、新産業の誕生や社会課題の解決につながるイノベーションの不在です。既存のシーズやニーズの延長線上だけでは、社会を根底から革新するようなイノベーションはなかなか生まれません。潜在的な希望や期待＝「ウォンツ」を探り当て、具体化し、価値創造することが必要です。GAFと呼ばれる米国の企業群は、「ウォンツ」を捉えた起業家が技術、資金を結集してイノベーションを実現した成果です。神戸大学V.スクールは、企業やNPO・自治体と協働して、「ウォンツ」主導の革新的イノベーションを創造する人材の育成と、社会課題の解決を目指します。

特色ある取組

▼ V.スクールが推進する価値創造教育

V.スクールが提供する新しい価値創造教育の公式は「**価値創造 = 価値創発 × 価値設計**」です。新しい価値が生まれるためには、さまざまなバックグラウンドを持った人間や知識・技術が交わる場から生まれる「**価値創発**」と、それを実際に社会に実装していく「**価値設計**」の二つのプロセスが必要です。V.スクールはこの二つのプロセスを体系化する**新しい教育プログラムを開発し、そのための場を提供**します。

▼ 組織と連動した価値の社会への実装

価値は、社会に実装するための適切な組織と協働しなければ実現できません。V.スクールでは、大企業、中小企業(ファミリービジネス)、ベンチャー企業(スタートアップ)、NPO・自治体と協力して、**価値の発見から社会への実装を目指**します。今日、SDGsに代表される社会的課題が山積しています。これらの課題は、ウォンツの源泉となります。V.スクールは、社会と連携しながら、**課題からウォンツを見つけ、価値を実装する実践的教育を通じて、社会的課題の解決に貢献**します。

▼ 価値創造研究教育の世界的拠点に

スタンフォード大学のデザインスクールが、デザイン思考の教育機関として世界をリードしています。神戸大学V.スクールは、デザイン思考を取り込みつつ、価値の設計と実装に重点を置き、**バリュー(価値)創造研究教育を推進**します。コーネル大学、UCサンディエゴ、シェフィールド大学などのアントレプレナーシップ研究とも連携して、**価値創造の世界的教育研究拠点**を目指します。

▼ 研究科を超えて自由に学生が参加する全学横断的組織として設置

V.スクールは、**全学横断的にすべての部局がその運営に関与し、所属する学部・研究科に関係なく、学生が自由に参加し、革新的な価値創造を学びます**。真に文理融合な環境の下、多様な考えが会うところに特徴があります。産業界からの支援を得て、**神戸大学120周年にあたる2022年には新建屋を竣工し、新しい学びの場を提供**する予定です。

▼ 「神戸大学Value Creator」の認証付与

V.スクールが提供する所定の講義および演習科目を取得し、新たな価値創造のできる革新的人材と認められる場合に、「**神戸大学Value Creator**」の認証を付与します。**神戸大学の学部生及び大学院生を対象として、当面は30名程度に付与する予定**です。神戸大学Value Creatorは、卒業後もV.スクールと密接な連携をとって、神戸、日本、世界の価値創造ネットワークを構築します。

▼ 企業・NPO・自治体との連携強化による産業社会の活性化

V.スクールは企業・NPO・自治体との連携を重視し、**ビジネスパーソンのリカレント教育プログラムの提供**を行います。神戸大学キャンパスに加えて、**大阪サテライト、三宮サテライトを設置**し、社会を巻き込んだ価値創造活動を推進します。



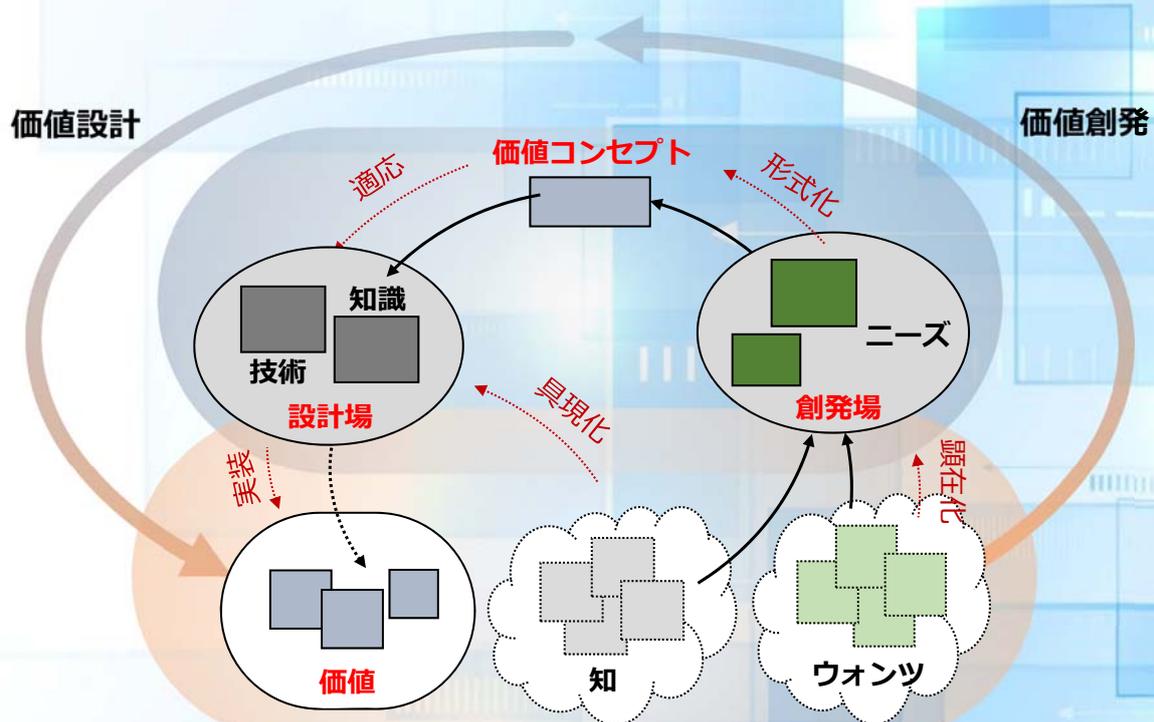
KOBE
UNIVERSITY
V.School



神戸大学V.スクール 説明資料 (記者会見補足資料)

V.スクールが推進する価値創造教育

「価値創造」 = 「価値創発」 × 「価値設計」



価値創造 = 価値創発 × 価値設計

価値創発

価値創発（VE）は、新しい価値が創発されるプロセスを対象とする。

創発とは、さまざまな要素が相互作用を起こして、事前に意図されていない効果を生み出すことである。そのためには、多様な情報やニーズやウォンツを連結する場を創り出し、それを系統的に統合して、継続的に更新する動的なメカニズムが必要になる。V.Schoolは、そのための最先端の教育・研究プログラムを提供する。

価値設計

価値設計（VD）は、創発された価値を実現するためのプロセスを対象とする。

研究・教育を通じて生み出された価値は、社会の中へ実装されて初めて意味を持つ。そのためには、価値を実装できるように具体的に設計するプロセスが必要になる。

V.Schoolは、社会的・国際的ネットワークを駆使して、価値を設計するためのプロセスを確立し、研究成果を社会実装することで価値創造を実現する。

×

||

価値創造

価値創造の対象は段階的に拡充・発展する。

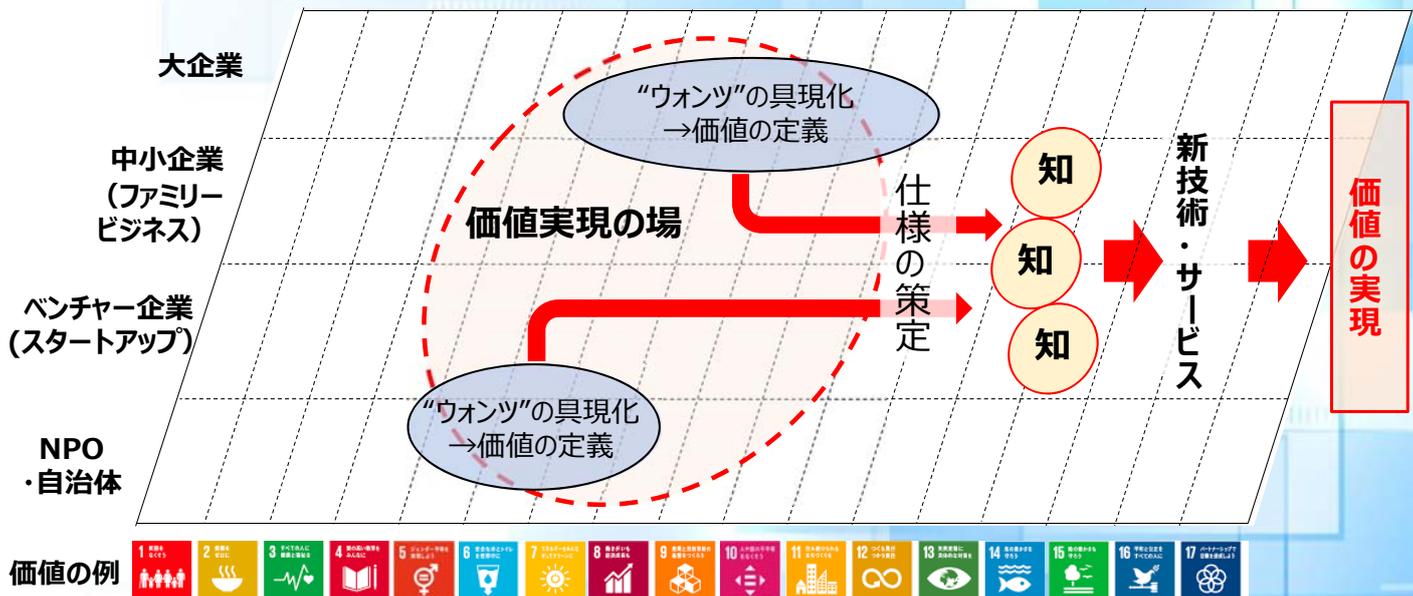
Medical Valueを出発点とし、それをLife Valuesへ拡充し、さらにはSDGsの17の目標と169のターゲットを包含するSustainable Valuesへの展開を目指す。V.Schoolは、神戸大学が120年近くにわたって培ってきた「学理と実際の調和」の伝統の下で、多元的・多層的な価値創造を通じて、地球的諸課題を解決するために先導的かつ公益的役割を担う。

2

組織と連携した価値の社会への実装

ウォンツの探索から課題設定・提供価値の定義など
価値創造戦略の多次元的理解に基づく研究

→ 知の融合 → 実装



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

3

研究教育

デザイン思考を取り込みつつ、
価値の設計と実装に重点を置いた
バリュー（価値）創造研究教育
を推進

連携

海外の有力大学との
アントレプレナーシップ研究と連携

- コーネル大学（米国）
- UCサンディエゴ（米国）
- シェフィールド大学（英国）
など

価値創造の世界的教育研究拠
点を目指す。

International Conference on Creating Value for the Future of AI and Society
October 15-17, 2019
Kobe University, Japan

Register Here
Registration Fee: ¥10,000
<https://jaaisi.com/event/64>

KEYNOTE SPEAKERS

Alex Rosenblat
Technology Rhetoric & Uncertain Governance:
How Algorithms Are Rewriting the Rules of Work in Uberland
Data & Society Research Institute

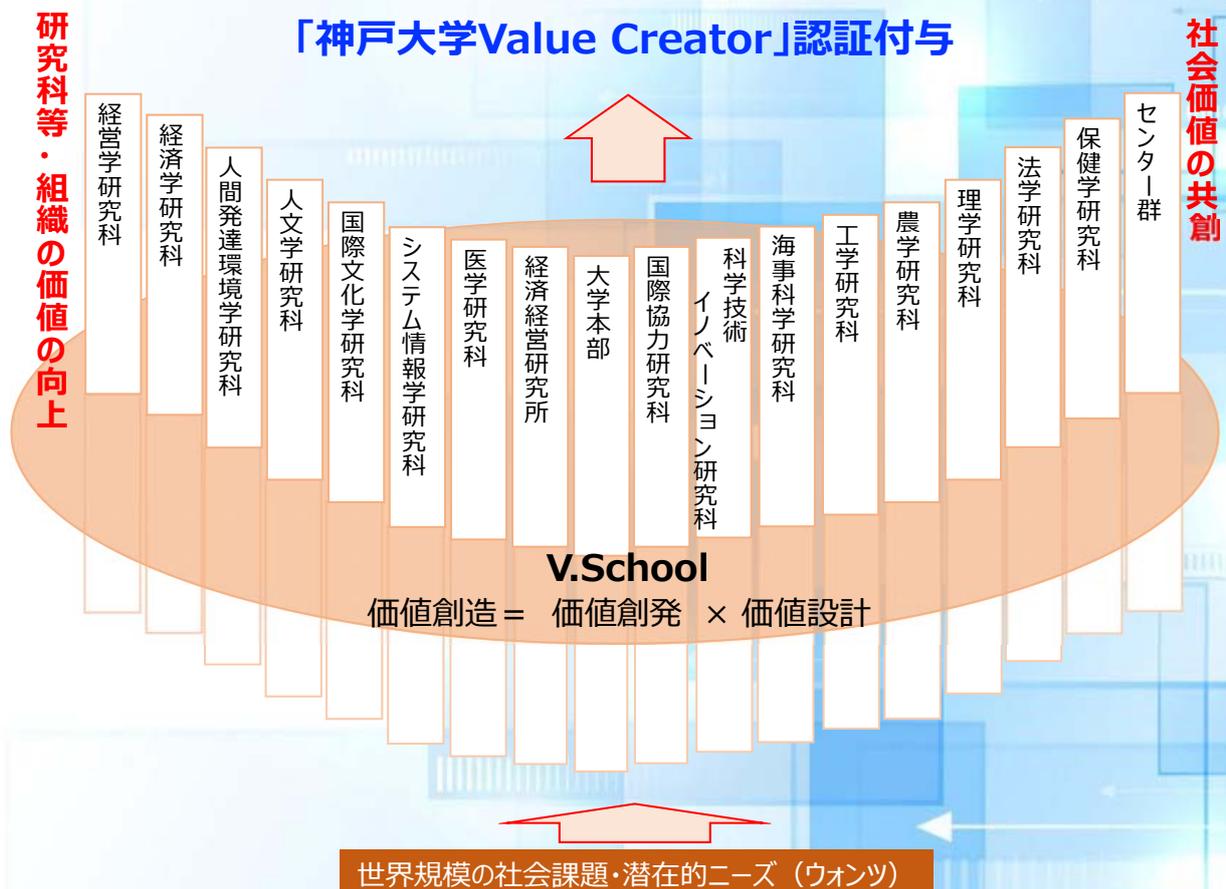
Naonori Ueda
RIKEN / NTT
AI-technology and Our Society

INVITED SPEAKERS

Tsuyoshi Kitani (NTT DATA), Akihiko Konagaya (Tokyo Institute of Technology), Takeshi Fukuda (IBM Japan), Takashi Kamihigashi (Kobe University), Amna Javed (ICST), Hisashi Tamaki (Kobe University), Takashi Mikami (AI Samurai), Tsuneo Nakata (Fujitsu Laboratories)

KOBE UNIVERSITY, JAISI, CVF CUSTOMER VALUE FOUNDATION, Journal of Creating Value

全学横断的組織と「神戸大学Value Creator」の認証付与



企業・NPO・自治体との連携強化による産業社会の活性化

企業・NPO・自治体との連携を重視し、社会を巻き込んだ価値創造活動を推進します。

- ビジネスパーソンのリカレント教育プログラムを提供。
- 神戸大学キャンパスに加えて、大阪サテライト、三宮サテライトを設置

V.School関連プロジェクト

▼価値創造教育プログラム開発と実施

■ 知の融合と人材育成

＜未来道場＞

- 未来世紀都市学研究ユニットにおけるプロジェクト創出（課題設定と知の融合）
- EDGE-NEXT（文部科学省次世代アントレプレナー育成事業）「Creative School」
- 震災レジリエンス人材育成プログラム（東北大学、宮城大学、北海道大学、小樽商科大学との共同開発）
- 国際医療機器開発エキスパートプログラム（AMED・医学部附属病院と連動）

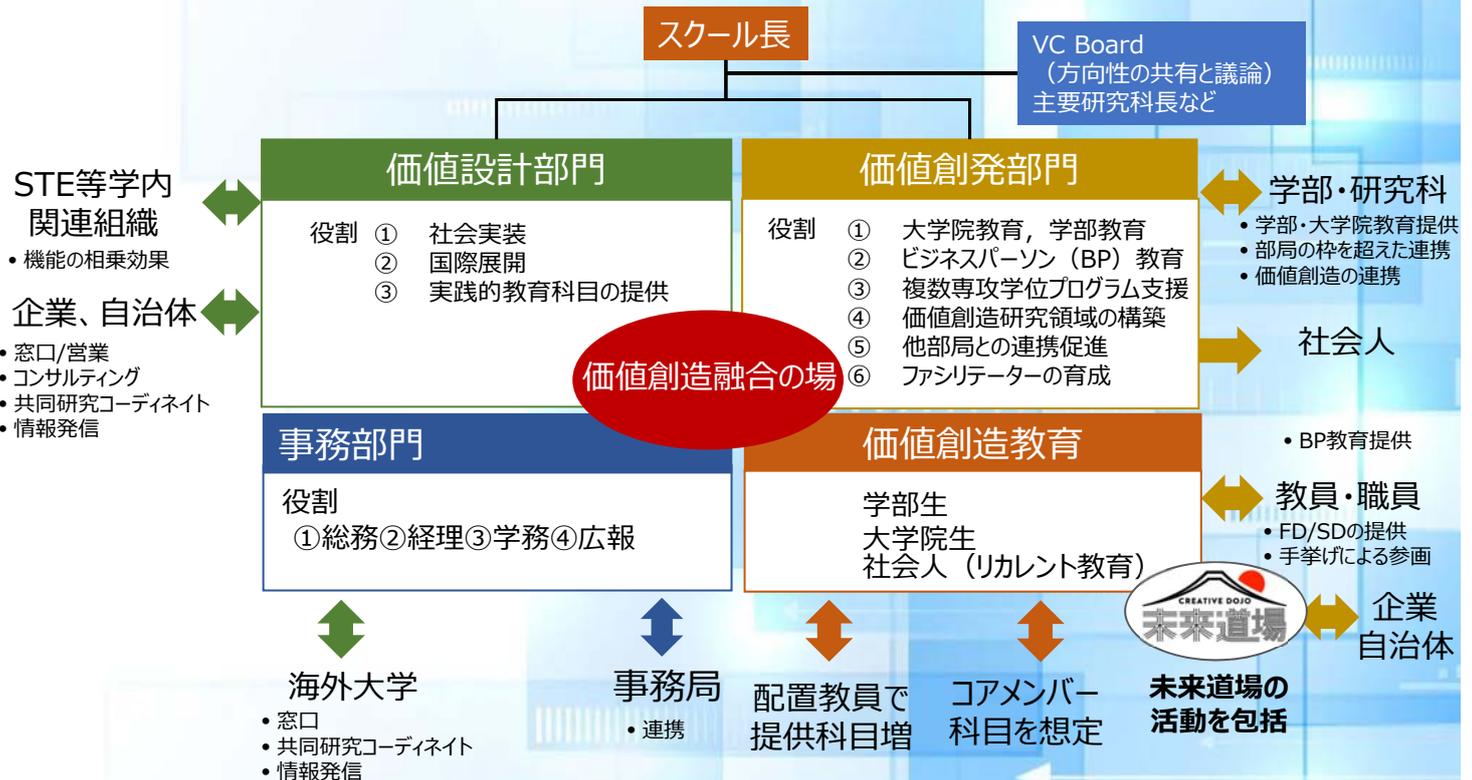
▼国際連携関連

- 国際会議Global Conference for Creating Value Kobe 2019の主催
- UCサンディエゴとのアントレプレナー教育の連携

▼企業・自治体・地域との価値共創研究プロジェクト

- キャタピラージャパンとの未来価値創造研究と人材育成（工学研究科IMDコースと連動）
- 神戸市・地域企業群を巻き込んだ低炭素社会の価値創造
- スタートアップエコシステムの形成

V.スクールの組織



V.スクールコアメンバー（予定）

スクール長

・副学長 國部克彦（経営学研究科教授）

・玉置久（システム情報学研究科長・教授）

・忽那憲治（科学技術イノベーション研究科副研究科長・教授/経営学研究科教授）

・西谷公孝（経済経営研究所教授）

・坂井貴行（科学技術イノベーション研究科教授）

・鶴田宏樹（学術・産業イノベーション創造本部/工学研究科准教授）

・藤井信忠（システム情報学研究科准教授）

・祇園景子（工学研究科特命助教）

・他に、部局関係協力教員15名程度、特命教員数名を雇用予定